

未収債権の目標及び具体処理策

所属(課又は担当): 港区総務課

1. 債権名及び整理番号(債権区分)

源泉徴収税徴収不足金	整理番号 1	区分: 私債権
------------	--------	---------

2. 未収金残高の推移(目標)

27実績 - 千円 28実績 1 千円
 29目標 0 千円 29実績 1 千円 30目標 0 千円

3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	27実績 -	28実績 -	29目標 -	29実績 -	30目標 -
	整理率	27実績 -	28実績 -	29目標 -	29実績 -	30目標 -
過年度	徴収率	27実績 -	28実績 0.0%	29目標 100.0%	29実績 0.0%	30目標 100.0%
	整理率	27実績 -	28実績 0.0%	29目標 100.0%	29実績 0.0%	30目標 100.0%

4. 29年度決算での未収金残高の状況

(件数、金額、債務者数(実人数))

合計	1 件	1 千円	1 人
29年度賦課分	0 件	0 千円	
28年度以前賦課分	1 件	1 千円	

回収債権

- ①処分したもののうち、換価前のもの
- ②分納誓約・徴収猶予等
- ③交渉中

計	1 件	1 千円
	0 件	0 千円
	0 件	0 千円
	1 件	1 千円

整理債権

- ④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの
- ⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの
- ⑥時効年限を経過したもの
- ⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの
- ⑧当該債権について破産による免責決定があるもの
- ⑨相続人が限定承認しており、相続財産価額が少額であるもの
- ⑩死亡・行方不明等で徴収見込みのないもの

計	0 件	0 千円
	0 件	0 千円
	0 件	0 千円
	0 件	0 千円
	0 件	0 千円
	0 件	0 千円
	0 件	0 千円
	0 件	0 千円

5. 29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度
B1		B1

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

○現年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
-	-



課題	改善策
-	-

○過年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
引き続き、電話やメールによる対象者との連絡を取り続け、未収金の解消に向けて粘り強く対応する。	納入義務者の理解を得られず、未収金の解消に至っていない。金額が少額であり、督促のための郵送料等の費用の方が高くなるため、不納欠損の処理についても検討を始めた。



課題	改善策
納入義務者の理解が得られていない。	納入義務者と連絡を取り続け、未収金の解消に向けて粘り強く対応する。

6. 30年度の取組内容 (5. 「29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること)

○現年度分	-
○過年度分	引き続き、納入義務者へ理解を得られるよう、未収金の解消に向けて粘り強く対応する。

(参考) 29年度実績及び30年度目標の他都市比較(未収金残高1億円以上の債権のみ)

未収債権の目標及び具体処理策

所属(課又は担当): 港区総務課

1. 債権名及び整理番号(債権区分)

区役所附設会館使用料	整理番号 2	区分: 公債権(強制徴収できない)
------------	--------	-------------------

2. 未収金残高の推移(目標)

27実績	0 円	28実績	0 円		
29目標	0 円	29実績	84 円	30目標	74 円

3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	27実績 -	28実績 -	29目標 -	29実績 0.0%	30目標 -
	整理率	27実績 -	28実績 -	29目標 -	29実績 0.0%	30目標 -
過年度	徴収率	27実績 -	28実績 -	29目標 -	29実績 0.0%	30目標 0.0%
	整理率	27実績 -	28実績 -	29目標 -	29実績 26.3%	30目標 11.9%

4. 29年度決算での未収金残高の状況

	合計	31 件	84 円	31 人
(件数、金額、債務者数(実人数))	29年度賦課分	4 件	14 円	
	28年度以前賦課分	27 件	70 円	

回収債権

	計	0 件	0 円
①処分したもののうち、換価前のもの		0 件	0 円
②分納誓約・徴収猶予等		0 件	0 円
③交渉中		0 件	0 円

整理債権

	計	31 件	84 円
④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの		0 件	0 円
⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの		31 件	84 円
⑥時効年限を経過したもの		0 件	0 円
⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの		0 件	0 円
⑧当該債権について破産による免責決定があるもの		0 件	0 円
⑨相続人が限定承認しており、相続財産価額が少額であるもの		0 件	0 円
⑩死亡・行方不明等で徴収見込みのないもの		0 件	0 円

5. 29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

○現年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
-	-



課題	改善策
-	-

○過年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
時効成立による不納欠損処理を行う。	地方自治法第236条第1項による時効成立した債権の不納欠損処理を行った。



課題	改善策
-	-

6. 30年度の取組内容 (5.「29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること)

○現年度分	-
○過年度分	<p>未徴収となっている本債権は、地方自治法施行令第171条の5第3号及び大阪市未収債権管理事務取扱規則第8条に基づき、徴収停止を行っている。</p> <p>本債権の時効期間は地方自治法第236条により5年であり、今後、時効が完成するものについて、不納欠損処理を行う。</p>

(参考)29年度実績及び30年度目標の他都市比較(未収金残高1億円以上の債権のみ)

未収債権の目標及び具体処理策

所属(課又は担当): 港区総務課

1. 債権名及び整理番号(債権区分)

広告料	整理番号 3	区分: 私債権
-----	--------	---------

2. 未収金残高の推移(目標)

27実績	-	千円	28実績	-	千円
29目標	-	千円	29実績	20	千円
			30目標		0
					千円

3. 徴収率及び整理率(不納欠損・調定変更)の実績及び目標

現年度	徴収率	27実績 -	28実績 -	29目標 -	29実績 33.3%	30目標 -
	整理率	27実績 -	28実績 -	29目標 -	29実績 33.3%	30目標 -
過年度	徴収率	27実績 -	28実績 -	29目標 -	29実績 -	30目標 100.0%
	整理率	27実績 -	28実績 -	29目標 -	29実績 -	30目標 100.0%

4. 29年度決算での未収金残高の状況

	合計	1 件	20 千円	1 人
(件数、金額、債務者数(実人数))	29年度賦課分	1 件	20 千円	
	28年度以前賦課分	0 件	0 千円	
回収債権	計	1 件	20 千円	
①処分したもののうち、換価前のもの		0 件	0 千円	
②分納誓約・徴収猶予等		0 件	0 千円	
③交渉中		1 件	20 千円	
整理債権	計	0 件	0 千円	
④処分したもののうち、換価残で履行見込みのないもの		0 件	0 千円	
⑤執行停止・徴収停止等の決定を行ったもの		0 件	0 千円	
⑥時効年限を経過したもの		0 件	0 千円	
⑦生活困窮状態で履行見込みのないもの		0 件	0 千円	
⑧当該債権について破産による免責決定があるもの		0 件	0 千円	
⑨相続人が限定承認しており、相続財産価額が少額であるもの		0 件	0 千円	
⑩死亡・行方不明等で徴収見込みのないもの		0 件	0 千円	

5. 29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など

○目標達成状況(未収金残高)

目標達成状況(現年度+過年度)		
	うち現年度	うち過年度

A: 目標を達成

B1: 目標を達成できなかった(取組は予定どおり実施)

B2: 目標を達成できなかった(取組を予定どおり実施しなかった)

○現年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
相手方と調整し督促や分納に向けて取り組んだ	督促や分納に向け調整を行い、一部納付があった。



課題	改善策
分納しているものの、納付が滞っているため、引き続き残りの納付を行ってもらう必要がある。	引き続き相手方に督促を行い、きちんと納付してもらうように取り組む。

○過年度の取組内容の検証など

29年度 取組内容	29年度 取組実績
-	-



課題	改善策
-	-

6. 30年度の取組内容（5.「29年度の目標達成状況及び取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載すること）

<p>○現年度分</p> <p style="text-align: center;">-</p>
<p>○過年度分</p> <p>一部納付があったものの、債権が残っているため、引き続き粘り強く督促等を行い、解消に努める。</p>

(参考)29年度実績及び30年度目標の他都市比較(未収金残高1億円以上の債権のみ)